



自社畑の果物のおいしさを 閉じ込めたワインの開発

土地柄課題
ドメーヌに取り組む
県内初のワイナリー

盆地型の気候で気温の差が大きく、ミネラルの多い軽い粘土質の土壌であり、水はけがいいという特徴のもと、果物作りに大変適した土地である山形県。さくらんぼは全国生産量のトップを占め、その他にも桃やぶどう、ラ・フランスなど、たくさん果樹を生産していることで知られています。

その村山盆地の南に位置する上市市で果樹園とワイナリーを営んでいるのが、有限会社蔵王ウッディファームです。もともと果樹園を営んでおり、さくらんぼやラ・フランス、ブルーベリーなどを栽培し、収穫した果物を園内の食品工房でジャムやドライフルーツなどに加工して販売していました。果樹栽培のために、肥料はすべて有機質肥料を使い、量より質を重視して、枝の数は県の基準に対して80%に制限しています。すべての果実により栄養が行き渡ることで、糖度の高い果物ができるのです。

有限会社蔵王ウッディファームが、山形県で12番目のワイナリーとして開業したのは平成25年のこと。しかも、100%自社で栽培したも採用され、徐々に知名度が上がってきています。

今後の課題・展望
お客様との長い
付き合いを目標に

「2回開催したお披露目会でも、お客様からの評判は上々でした。今後は、実際に畑やワイナリーをお客様に見てもらえる環境を整備して、応援していただけるような関係づくりをしていきたいですね。そして直販率を高めていきたいです」と木村さんは話します。インターネットでの購入も、もっと拡大していきたいとのこと。「おいしい」と言われることを目指して、木村さんは、今日も自家製の果物を使ったワイン造りに励んでいます。



有限会社蔵王ウッディファーム
代表取締役 木村義廣さん

果物を使った「ドメーヌ」と言われるワインの醸造に取り組んでいるワイナリーは、県内では有限会社蔵王ウッディファームが初。「果樹園だけをやっているときから、最終的にはワイナリーを作ることが目標だったんです」という、代表取締役の木村義廣さんの強い思いから実現しました。果樹園としても、そしてワイナリーとしても、着実な歩みを進めています。

取組の経緯
通常のワイン造りの
次に目指すもの

そして次に木村さんが着目したのが、原料となるぶどうの栽培のみならず、ワイン

事業の今これから

令和元年
12月現在

開発後、「ぼわぼわポワレ」は徐々に販売量が伸びているそうです。また、「ろんろんロゼ」に代わり現在は、3種類のワイン用ぶどうを混合醸造した商品「とりぴのロゼ」が販売されているとのこと。今では赤・白合わせて15種類のワインを手掛けています。目標であった、ワイナリーや畑に来ていただける環境整備と取り組みについては、栽培するワイン用ぶどうが平成29年「山形県特別栽培農産物」の認証を受け、平成30年11月には、飲食店のシェフ等を招きワインと料理のセミナーを開くことのできる「マリアージュセミナーハウス」が完成。また、毎年開催される「ワインツーリズムやまがた」では、たくさんの方にご来場いただいているそうです。

有限会社蔵王ウッディファームでは、これからも開園当初より続く果樹栽培と、ドメーヌスタイルでのワイン醸造を守り続けていきます。

の醸造工程も自然に寄り添ったワイン造りです。通常の醸造過程には欠かせない濾過を行わず、また補糖もせず、亜硫酸塩などの酸化防止剤も削減。製造には非常に手間ひまが掛かりますが、「せっかくなので県産の果実を使ってワインをつくるのだから、この土地で育てた果物を生かしたワイン造りに取り組んでみたい」と、新たなワイン開発を始めることにしました。また、酒の卸売業を営む株式会社小島洋酒店と連携しながら商品の販路開拓も目指します。

工夫
良質な原料と醸造で
魅力ある商品に

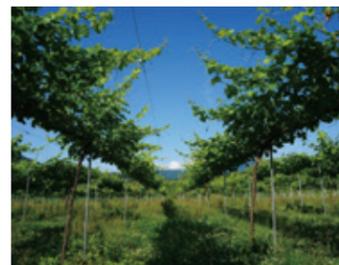
有限会社蔵王ウッディファームはたくさん種類の果物を生産していますが、中でも西洋梨の生産量はとりわけ多いとのこと。ギフトとして重用されている西洋梨は出荷に当たっての規格が厳しく、どうしても発生してしまう規格外品は、これまではジャムや

成果
ワインの品質を
維持するために

完成したワイン「ぼわぼわポワレ」と「ろんろんロゼ」には酸化防止剤が少量しか添加されておらず、濾過も行っていません。つまり、それだけ品質保持に手間がかかり、小売店に品物を管理してもらった必要がある商品です。そのため、ウッディファームが商品を発送する際も、6〜9月はクール便の使用が必須。品質管理に最新の注意を払い、取り扱ってもらう小売店を慎重に選びながら商品を卸しています。現在は卸での販売が多く、上市市のふるさと納税の商品として



自社の畑で栽培した果物を使っているからこそ実現できた豊かな味わい



会社概要
有限会社蔵王ウッディファーム
住所 / 〒999-3212 山形県上市市原口829
電話 / 023-674-2343
ホームページ / http://www.woodyfarm.com

事業実施体制

(助成期間 H25.11
~H27.10)

〈農林漁業者〉

有限会社蔵王ウッディファーム
(原材料の生産、商品開発、販売)

(連携) ↓ ↑

〈中小企業者〉

株式会社小島洋酒店
(商品販売、販路開拓)